

F u - Z i n

# 第43号

平成28年11月発行



報告

## 第15回博多のおいしゃんと歩こう 追い山笠コース探訪

告知

## 第16回 楽文コンテスト表彰式

報告

第36回NPO博多の風フォーラム

「ワイドFMになって変わるコミュニティ」

## 近年の活動

※設立からの詳細はホームページをご参照ください  
<http://hakanokaze.jp>

### 平成27年

- 4月 第34回 NPO博多の風フォーラム 開催  
講師: 因幡 敏幸氏 (春日大野城那珂川消防本部)
- 6月 第14回 追山コース探訪 開催
- 7月 第15回 楽文コンテスト 開催
- 11月 第35回 NPO博多の風フォーラム 開催  
講師: 戸谷 弘一氏  
(福岡県警察生活安全部 参事官兼  
生活安全総務課長 警視)

### 平成28年

- 4月 第36回 NPO博多の風フォーラム 開催  
講師: 沢田 幸二氏 (KBC九州朝日放送アナウンサー)
- 6月 第15回 追山コース探訪 開催
- 7月 第16回 楽文コンテスト 開催

### NPO博多の風の歩み

- 設立  
平成10年 9月  
任意団体『博多の風』設立 代表: 大庭宗一
- NPO登記  
平成12年 6月  
『NPO博多の風』として登記 理事長: 大庭宗一

### NPO博多の風事業概要

- 啓発事業
  - ・博多の風フォーラム開催
  - ・広報誌・HP発行
  - ・毎日新聞世論フォーラム公聴
  - ・作文コンクール(楽文コンテスト)開催
- 地域環境向上事業
  - ・博多の町親交  
(清掃活動・クリーン作戦・冷泉小学校跡地提言・山笠文化継承)
- 活性化事業
  - ・書籍出版
  - ・博多祇園山笠の振興
  - ・追山コース探訪開催
- 協力事業
  - ・各市民団体との情報交換及び支援

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027  
福岡市博多区下川端町8-16 -302  
FAX 092-263-7188

E-Mail [info@hakanokaze.jp](mailto:info@hakanokaze.jp)  
URL <http://hakanokaze.jp>

題字: 新井光守





# NPO博多の風フォーラム ワイドFMになって 変わることに変わらないうと

去る平成28年5月14日、第36回NPO博多の風フォーラムが福岡市立博多小学校「表現の舞台」にて開催されました。今回はKBC九州朝日放送アナウンサーの沢田幸二さんに「登壇いただき「ワイドFM」になって変わることに変わらないうと」と題し、ラジオ放送の裏側などをお話しいただきました。



沢田 幸二 (さわだ こうじ)  
1957年12月8日生 (58歳) B型  
80年に九州朝日放送にアナウンサーとして入社。現在、KBCエグゼクティブアナウンサーを務める。  
【主な出演テレビ・ラジオ番組】  
サワダデース(月～木曜10:45～放送)  
PAO～N(月～金曜13:00～16:00)

KBC入社37年目、昭和55年4月1日九州朝日放送入社、沢田幸二と申します。全国12社の放送局の面接を受け、たまたまKBCに入社いたしました。本当は野球中継の実況をやりたいのですが、いつのまにかある種の烙印を押され今に至ります。まあしかし、この歳になってもアナウンサーをやらせて頂いて、しかも肩書はエグゼクティブアナウンサー。略して「エグアナ」！爬虫類のようですね(笑)さて、本日の演題は「ワイドFMになって変わることに変わらないうと」ということで、ワイドFMとはこれまでのAMラジオを変化させたもので、主に災害対策を目的として、今回の熊本地震の時のように災害時にダイレクトで情報が入ってこないということがないように国策として実施されている事業です。国策です。皆さまの血税を使っている事業であり、本当に皆さまのお陰なのでございます。ですから、皆さまにはこれま

でのAMだけでなく新しいワイドFMでも是非聴いてほしいと思います。ただし、皆さまのご家庭に90メガヘルツを受信できる受信機が無いと聴くことができませんのでご注意ください。ですので、もしお持ちでない方は是非近くの電器店でお買い求めいただき聴いていただきたいと思えます。かくいう私もこの間ベスト電器に買いにいったのですが、お風呂でも聴ける5,000円の物を買いました。ラジオはピンからキリまで店頭にあつたものをお買い求めいただけます。ワイドFMとAMと言いますと、こういうのもなんです。私には実はAMのザラザラ感が好きでして、本当はKBCのFMPR大使なんですけどもAMが好きなんです。FMというのとFM福岡やクロスFM、ラブFMとかどっちかというと良い洋楽を流している番組のイメージです。でもAMがワイドFMになると

いつても、まあなるべく良い音楽を流そうと思えます。私がおっしゃっている番組では演歌を流し続けますね。実は演歌をかけるとお金が入ってくるんです。まあ諸々の事情があつて演歌を流しております。もちろん演歌にも良い曲が沢山ありますので、そういう意味ではFMでも演歌が聴けるようになるというメリットもあるわけです。平成28年3月21日からワイドFMの放送が始まりましてようやくウチで聴けるようになったという声を頂いております。KBCは実は発祥の地が久留米なんです。その昔久留米のパートに本社があつたらしく、昭和27、28年ごろの話なんです。でもその久留米が今一番AMラジオが聴こえづららしいんです。ラジオ電波の送信所がそれまでは和歌山あたりにあつたんですが、土地の安さやらなんやらで東区の山の上に送信所を移したところ、電波が届かなくなつたらしいんです。なぜかとい

うと、和歌山の送信所は海の近くにあつたらしいんですけど、電波は性質上海の近くにあつた方が遠くまで届くらしいんです。山の上に移したせいで久留米が聴こえにくくなってしまったと、こういうことなんです。今回の熊本地震の際は久留米の方は結構揺れたみたいですが、そんな時にラジオが聴こえない！とそんな風にならないように一種の国策としてこのワイドFM事業が行われるようになったというわけです。先ほど申しましたが、ワイドFMに変わっても番組の内容は変わりません、そうです、いわゆるトークラジオを貫きます。ラジオの良さっていうのは2ウェイ、双方向性です。ラジオを聴いている人に呼び掛けるようなスタンスでしゃべり続けております。これがキレイな音質に変わろうともそのスタンスが変わることはありません。KBCの場合朝の5・30からお昼をまわって深夜越えてまた早朝

からという感じでお送りしております。スタンスとしてはラジオが大好きな方に災害の情報だけでなく、地域の情報をいち早くお届けしつつ、あることないことをしゃべっていくという感じです。FMなのによくしゃべるなという方がいらつしやるかもしれないですが、どちらかというと福岡ではFMの方がいっぱいしゃべっています。今、福岡のラジオの場合、ある種FMとAMに特色がないというか、あるというか。東京の場合は実ははっきりと線引きされているんです。FMは東京FMとか音楽を中心にお届けしてあり、AMは日本放送、文化放送、TBSラジオなどトータルを中心をやつていて、このように住み分けがはっきりとなされています。ラジオの聴取率は、テレビでいうところの視聴率ですが、東京の場合AMの方がとても高いです。また、今はラジオというインターネットを使って聴けるラジオが登場しております。ラ



ジコもとてもクリアな音質で聴けるのですが、実は1分くらいのタイムラグがあります。電波を圧縮してまた広げるのに少し時間差がかかってしまいます。なのでテレビを見ながらラジオを聴いていると野球中継なんかでは予言実況みたいになつちやいますね。とまあ、FM、AM、ラジオなどそれぞれ特性がありますが、皆さまそれぞれのお好み媒体で聴いていただければと思います。ちなみに今、私が演っております。パオンですが、お陰さまで「FMでも聴けるようになりましよ」とか「初めてメールします」とかいう声を頂戴しまして、ワイドFMになってよかつたなと実感して

おります。ただ、私はFMになつたからといって何か変わるものがあるでもなく、どの媒体で聴いても皆さんにとつて楽しく聴いてもらえたらなと思つてしゃべつております。ちなみにラジオの場合ローカルですので、どんな話題でも切り取りやすく、内輪の話なんかも取り上げたりします。先週の金曜日、私と一緒にアシスタントとしてラジオでしゃべっている原田らぶ子という女性がいます。彼女がいきなり「私実は結婚しました」と発表したんです。すると、なんと700通以上のお便り・メールが来まして。私は横で忸怩たる思いでそんな結婚の話に皆関心があるななと感じておりました。ですが、まあでもこれがラジオらしいですよ。原田らぶ子が40歳で結婚したのかと、まるで親戚や家族のようにお便りを下さりまして、ああラジオって良いなあと感じましたね。彼女は、この歳になつても結婚できないっていうのがある種の売りだったんです。らぶ子の結婚相談コーナーでもやつてみよ

うかという声も上がつていたほどで、そんな矢先でした。その日は番組で結婚のことを発表した瞬間メールが入ってきました。1分後にはもう沢山来ていました。この時代のSNSの素晴らしさと同時にラジオの素晴らしさを実感しました。ラジオの先の女性アシスタントに対して、ほつとけないとか、親しみを感じるというのがラジオの良さですよ。あとラジオの良さといえば、本当はその日のメッセージテーマは別に用意してあつたんですけども、あまりに結婚の反応が大きくて、急ぎよテーマを「結婚おめでとう」に変えてしまつたという、この臨機応変さがまたラジオの良い部分ですね。このように、つい1週間前にラジオの良さを改めて知るといふ機会に巡り合いました。ちなみにこのらぶ子のお相手は7歳下の男性だったのですが、なんとラジオのリスナーだったんです！

**告知** **第37回 NPO博多の風フォーラム 開催のご案内**  
■開催日時:平成28年11月26日(土) 開場:13:00/開演:13:30 ■開催場所:博多小学校「表現の舞台」  
講演 **大庭宗一の博多今昔話** 講師 **大庭 宗一**(NPO博多の風 理事長)  
※ご家族、ご友人をお誘い合わせの上、ご参加ください。多数の方のご参加をお待ちしています。

(大浦 晴彦)



## 参加者の声

山笠だけでなく博多の町を深く知る機会になりました。

探求心をくすぐられました。博多のため、末永く続けてほしい。

山笠の見方が変わりました。楽しく歩いて2時間が短く感じました。

歩くことで気づくことも多く、歴史の話もあり、博多が、山笠が楽しく感じました。

細かく説明していただき、また、裏話等とても楽しい内容で充実していました。

ユーモアも含めて、楽しい探訪でした。

沢山の方に会えてよかったです。分かりやすい説明と気配りは素晴らしかったです。

久しぶりに歩いたが2時間半あっという間でした。

来年も当選しますように!



●15日廻り止め



①

### ①冷泉公園

集合場所は冷泉公園の北側  
大勢の参加者で賑わいました



②

### ②山留め

櫛田入りのスタート地点  
緊張の瞬間です



③

### ③櫛田神社の清道

スピードを落とさないように  
清道旗を回ります



④

### ④聖福寺

日本最初の禅寺  
後鳥羽上皇の勅額があります



⑥

### ⑥鏡天満宮

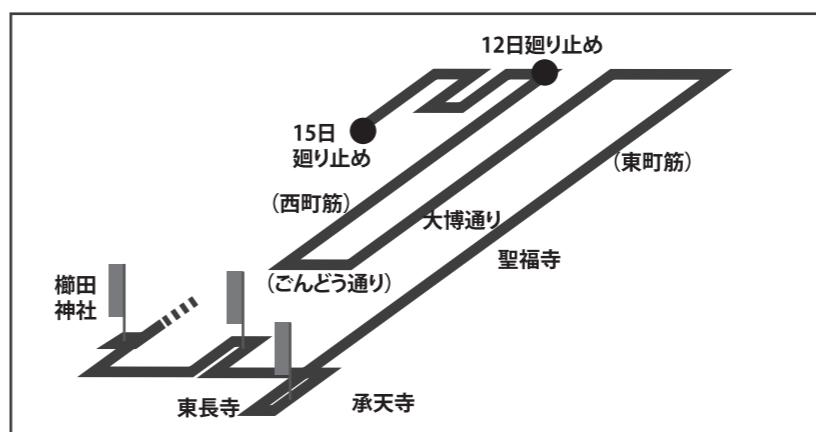
菅原道真公が自分の姿を写した鏡を御神体としているそうです



⑤



●第三の清道がある承天寺



6月5日に今年で15回目となる追い山笠コース探訪を実施。今年も新聞での案内やホームページへの掲載そして情報番組を通じ広く参加を呼びかけ、多くの皆さまにご参加いただきました。

当日は9時に冷泉公園に集合。理事長の挨拶と世話人からの注意事項連絡を済ませたのち、11班に分かれた参加者と法被に身を包んだおいしやん達が次々と博多の町に歩き出していきました。

追い山笠コースは櫛田神社から須崎問屋街の廻り止めまで約5キロの道のり。追い山笠日は約30分で進むコースを探訪では約2時間かけて歩きます。語り部は博多の風の仲間たち。博多雑学や山笠うんちくを耳にした参加者からは「実際に山笠に参加されている方の話は大変興味深く楽しかったです」など多くの感想が寄せられました。

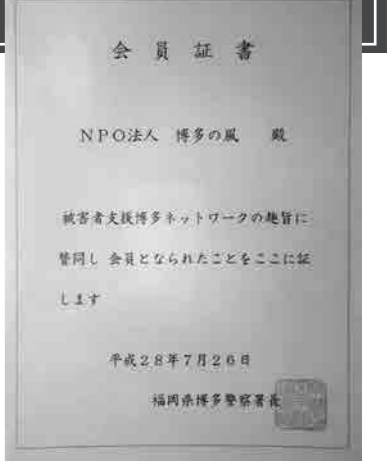
次回も笑顔でお待ちしております

今回で、この追い山笠コース探訪は15回目を迎えることができました。試行錯誤しながら回数を重ね、これまで本当に多くの方に参加いただきました。ありがとうございます。これからも皆さまでからいただいた貴重な声を参考にさせていただきながら、博多の町と山笠をよく知れる機会として、回を重ねて参ります。





# NPO博多の風は「NPO法人全国被害者支援ネットワーク」の取り組みを支援しています。



皆さんは「NPO法人全国被害者支援ネットワーク」をご存じですか？このネットワークは全国48の加盟団体とともに犯罪被害者と被害者家族・遺族がいつでもどこでも必要な支援が受けられ、その尊厳や権利が守られる社会の実現を目指して活動しています。ネットワークには全国48の支援センターが存在し、福岡県には平成12年「公益社団法人福岡犯罪被害者支援センター」が開設し、平成25年には「性暴力被害者支援センター・ふくおか」が併設されました。

どんな活動をしているの？  
犯罪に巻きこまれた被害者には事件後もこころや体の不調に悩まされる人が多く、それを誰にも相談できずにいるケースも少なくありません。センターでの支援活動は被害者の視点に立つことから始ま

ります。孤立しがちな犯罪被害者等の方のこころと生活のケアを目標に、被害者の視点に立った支援活動を多分野の専門スタッフの協力により行っています。具体的な支援活動としては大きく分けて2つです。

1つ目の活動は電話相談。カウンセリング等の専門研修を受けた相談員が電話相談を受けています。「事件のことを誰に相談すればいいかわからない」「自分の苦しみを誰かにうちあけたい」などの悩みや困りごとがあれば、何でも気軽に相談してみてください。プライバシーは厳守されます。

2つ目の活動は直接的な支援活動です。こちらの活動は被害者によって様々ですが、検察庁や裁判所、その他の関係機関への同行支援や犯罪被害に関するカウンセリングなど、直接的な支援を必要とする方へのサポートを行っています。被害者の方の要望にあわせて各分野の専門知識をもつスタッフが対応します。もちろんこれらの支援活動は無料で受ける事ができます。

社会全体で支援の輪を広げよう  
平成12年からの歩みの成果は徐々に広がりを見せており、連携する医療機関との協

働の進展や公開フォーラムの実施と共に年々センター利用者の数も増えてきています。この成果の実現には多くの企業や団体、そして個人の方々がセンターの活動に賛同しサポートした結果であり、今後も社会全体でのサポートが必要不可欠となっています。NPO博多の風では微力ながらセンターへのサポートを今後も継続して参ります。また、センターの収益事業として関係各機関の協力を得て「犯罪被害者支援協賛自動販売機」の設置を進めています。この取り組みは飲料水の自動販売機を利用し、売上金の一部を福岡犯罪被害者センターへの活動資金として運用し、犯罪被害者やその家族、遺族に対して様々な支援を行う一助とするものです。センターへの寄付となると少しハードルが高くと感じる方がいらっしゃるかもしれませんが、飲料水の購入で気軽に支援をしてみるのが立派な後押しです。自販機を見つけた際はぜひ立ち止まって購入してみてください。被害者の心の支援に繋がっていきます。



【寄付型自動販売機】  
飲料代金から1本につき10円が  
犯罪被害者支援活動への寄付  
となります。

詳しくは下記にて検索ください

NPO法人全国被害者支援ネットワーク 🔍

福岡犯罪被害者支援センター 🔍

## 告知

### 第16回

## 楽文コンテスト表彰式

平成28年11月26日(土)開催(予定)  
開場10時30分 開演11時  
会場 博多小学校 表現の舞台

今回で16回目となる楽文コンテストですが、7月から9月の募集期間に、福岡市内外の小中学校から約1500通の応募がありました。すべての作品に目を通し、1次選考から4次選考を経て、博多の風の執行部や後援・協賛いただいた企業・団体の方にも協力頂きながら、作品を選ばせていただいたおります。家族や友達のこと、お祭りや夢中になっていることなど、「君が大好きなこと」について書いた作品で、子供らしい生き活きたとした作文や、大人では気付かない視点での文章など、読み応えのある作品がそろっています。表彰式では、優秀作品の表彰と、各賞代表の方の作品発表を予定しています。ご期待ください。



昨年の表彰式(平成27年11月)

## 賛助会員募集中

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お近くの博多の風の幹事か下記までご連絡ください。

一般会員  
一口 1,000円(年間)

特別・法人会員  
一口 10,000円(年間)

(一口以上、何口でもお申込みいただけます。)

お問合せ先  
「NPO博多の風」広報企画(担当:山口)  
E-mail info@hakatanokaze.jp  
FAX 092-263-7188

### 編集後記

今年にはリオオリンピック・パラリンピックの年でした。様々な競技において選手たちが躍動する姿は国民に勇気と感動を与えてくれました。中でも、日本のお家芸とされ、金メダルを取って当たり前とされた柔道は前回のロンドン大会での金メダルゼロという結果からの雪辱を果たし日本のメダルラッシュに勢いを付けることとなりました。柔道は1882年に嘉納治五郎が創始したとされ日本を発祥として諸外国にも広がり、現在の競技人口は全世界で300万人を優に超すとされています。グローバル化の柔道界での日本の覇権はもはや絶対的なものではなく、日本柔道のさらなる飛躍のためには変革による深化と進化が求められてきたといわれます。リオ大会柔道男子監督の井上康生氏は前回大会から、これまでの伝統にとらわれない変革を実践し今回の成果に見事に繋げました。130年の伝統の「柔」の精神を軸に変化させるべきは変化させ柔道の深化・進化を果たしたのでしょうか。NPO博多の風は設立から18年、これからは770余年の山笠の伝統と共に歩んで参ります。本広報誌のあゆみも15年を数えます。博多のまちと人々への想いを軸に、様々な挑戦を通じて、活動の深化・進化を続けていきます。

(大浦 晴彦)

## ~NPO博多の風 ホームページ~



書籍購入の紹介ページもあります。



NPO博多の風の最新情報はホームページに掲載。内容は随時更新中です。設立趣意書や定款などもまとめております。

URL <http://hakatanokaze.jp>